

社会福祉法人早苗会の理念

<基本理念> 物心両面のゆたかさを追求し、社会の進歩発展に貢献する。

<経営理念>

1 社会的使命と地域との連携

広く社会に目を向け、地域との交流・推進を図り、安心と信頼で結ばれ保育所の健全な経営を行う。

2 質の高い保育業務と責任・権限の明確化

質の高い保育業務を提供するために、一人一人の職員が創造性、協調性、責任感、信頼性を重点に自己の資質向上に努める。また、職員各自の組織上の役割、権限、責任を明確にし、組織一体となって保育業務遂行にあたる。

3 働きやすい職場環境

誇りある、働きやすい職場環境づくりに努める。

社会福祉法人早苗会 早苗保育園の保育理念

保育理念

【遊びは成長の原点である】を柱に、子どもの「生きる力」を育む。

保育の基本方針

- 1 社会福祉法人早苗会の運営する早苗保育園は、児童福祉法に基づき、保育に欠ける子どもの保育を行う。子どもの人権や主体性を尊重し、保護者や地域社会と力を合わせ、児童の最善の幸せを積極的に増進させる。子どもの生活の場として最もふさわしい場を提供する。
- 2 子どもの健康と安全を基本とし、家庭と緊密な連携の下に、子供の状況や発達過程を踏まえ、養護と教育を一体的に行い「生きる力の基礎」を培う
- 3 入所する子どもを保育すると共に、家庭や地域との連携を図りながら、「保護者に対する支援」及び「地域の子育て家庭への支援」を行う。
- 4 入所する子どもの保育に関する要望や意見・相談に際しては、丁寧に対応し、社会的責任を果たす。

保育目標

【生き生きとした子どもをめざして】

<元気な子ども>

- * 歩く、走る、跳ぶなどの戸外での活動を十分に楽しむ。
- * 健康で十分な発育ができるよう、薄着の習慣を身につけさせ、年間を通して冷水摩擦をし、皮膚を鍛錬する。
- * 裸足で生活させ、足の指がしっかり床をつかんで、その刺激が身体の様々なところを発達させる。
- * 運動や休息、栄養をとり、規則正しい生活を送り、自ら安全を守るような生活習慣及び態度を身につける。
- * くつろいだ雰囲気の中で、情緒が安定し、意欲的に遊ぶ力を育む。

<意欲ある子ども>

- * 積極的に遊びや生活ができるようにし、協調性や社会生活の基礎となるような態度を養う。
- * 生活の中で言葉への興味や関心を育て、豊かな情操・思考力・表現力の基礎を培う。
- * いろいろな体験を通して、自分なりに物を見たり、感じたり、考えたりして、豊かな感性と創造力の芽生えを養う。
- * 自然に対する知的興味や関心を育て、思考力・認識力を培い、科学的に観察する力を養う。

<身辺自立のできる子ども>

- * 食事・排泄・睡眠・着脱・清潔などの正しい習慣を繰り返し、自立の芽生えを養う。
- * 身の回りの簡単なことは、自分で処理する力を育む。